

JSDP^{28th}



J.S.D.P.

一般社団法人 日本発達心理学会第 28 回大会ご案内

2017 年 3 月 25 日 (土)～27 日 (月)

広島国際会議場

アステールプラザ

広島市文化交流会館

参加・発表・企画申込と原稿投稿のメ切りが
同時で 10 月 31 日です！

ご挨拶

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日本発達心理学会第 28 回大会は、2017 年 3 月 25 日 (土)～27 日 (月) の 3 日間、広島大学を担当校として開催させていただくことになりました。会場は、アクセスの利便性を鑑み、また平和都市 広島の持つさまざまな特性を皆様に体験していただきたく、広島市平和公園内の広島国際会議場および隣接するアステールプラザ、広島市文化交流会館といたしました。

本大会のテーマは、「**社会と世代のこころをつなぐ発達心理学**」です。IT 技術やデジタル的思考が社会のさまざまな分野に浸透し、社会が急激に変容するに伴って、心の成長・発達にも多くの問題が生じています。本大会は、これらの現代社会の抱える問題をとらえ直し、社会、世代、学問等を、発達心理学の視点から「つなぐ」ことを問題提起したいと考えています。

大会企画としては、次のような海外からの招待講演やシンポジウムを予定しています。

海外からの招待講演では、アメリカ合衆国のオースティン・リッグス・センター、エリクソン研究所前所長 Gerard M. Fromm 博士をお招きし、「ライフサイクルにおけるトラウマの世代継承」について、ご講演いただきます。オースティン・リッグス・センターは、アイデンティティ論を提唱した E. H. エリクソンが長く研究と臨床活動に携わったことで有名で、アメリカでトップを誇る心理臨床施設・研究所です。G. M. Fromm 博士は、エリクソンから直接、指導を受けた経験をお持ちで、発達心理学・臨床心理学の第一線でご活躍中の研究者・心理臨床家です。

大会委員会企画シンポジウムとしては、「認知発達研究における理論の役割を考える」、「ワーキングメモリ理論から発達障害へのアプローチの進展」、「日本人青年のアイデンティティ発達はどこまで明らかになったか」、「虐待予防に発達心理学ができることは何か」、「歴史的トラウマの記憶と継承：戦争体験は次世代にどのように受けつがれたのか」の 5 つを予定しております。5 番目の企画は、本大会のテーマおよび広島での開催に因んで、戦争体験やトラウマの世代継承性について、新たな視点を見出すことができると企画いたしました。本大会にて、認知心理学・発達心理学と心理臨床をつなぐ諸課題や世代継承性等、現代社会の問題を多角的に討議できれば幸いです。

3 月下旬の広島は、桜も見ごろで暖かな美しい季節です。

大会委員一同、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

2016 年 7 月

日本発達心理学会第 28 回大会委員長

岡本 祐子

目次

1. 送付物一覧	p. 2
2. 会期・会場	p. 2
3. 実施内容	p. 2-5
4. 大会参加の手続き	p. 6-9
5. 大会に関する広報・諸連絡	p. 9-10
6. 第 28 回大会および学会に関する連絡先	p. 10

1. 送付物一覧 (今回お送りしたもの)

■「大会ご案内」(本通信)

■払込取扱票

※不足するものがあれば日本発達心理学会第 28 回大会サポートデスクにご連絡ください。

→連絡先 E-mail : g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp

※ 2 号通信は送付しません。原稿作成要領については大会 Web サイトをご参照ください。

2. 会期・会場

■会期：2017 年(平成 29 年) 3 月 25 日(土)～27 日(月)

■会場：広島国際会議場、アステールプラザ、広島市文化交流会館
会場へのアクセスについては、大会 Web サイトをご覧ください。

3. 実施内容

本大会の実施内容には、大会委員会および学会等が企画するものと、団体または会員が企画するものがあります。

3-1. 大会委員会および学会等が企画するもの

【1】招待講演・基調講演

以下の 2 件を予定しています。詳細は大会プログラムでご案内します。

◇講演者：Dr. Gerard M. Fromm (オースティン・リッグス・センター, エリクソン研究所 前所長)
演題：ライフサイクルの「はめば歯車」とトラウマの世代継承—エリクソンの人生と仕事の省察—
指定討論者：鑓 幹八郎 氏 (広島大学・名誉教授)

◇講演者：岡本 祐子 氏 (広島大学大学院・教授)
演題：転換期社会におけるアイデンティティ研究・教育の未来
—アイデンティティ論から見た「こころをつなぐ」視点— (仮題)

【2】 大会委員会企画シンポジウム

以下の5件を企画しています（いずれも仮題）。詳細は大会プログラムでご案内します。

- ◇認知発達研究における理論の役割を考える
- ◇ワーキングメモリ理論から発達障害へのアプローチの進展
- ◇日本人青年のアイデンティティ発達はどこまで明らかになったか
- ◇虐待予防に発達心理学ができることは何か
- ◇歴史的トラウマの記憶と継承—戦争体験は次世代にどのように受けつがれたのか—

【3】 学会企画シンポジウム、チュートリアル・セミナー

以下のような企画を予定しています。詳細は大会プログラムでご案内します。

- ◇各種委員会企画シンポジウム 他
 - ◇関連学会・団体との共催シンポジウム 他
 - ◇チュートリアル・セミナー
- ※理事会および各種委員会の企画の場合は、企画費は徴収いたしません。

3-2. 団体または会員が企画するもの

■以下の表に示す4つの種類があります。詳細は表以降の文章をご覧ください。

	【1】 学会関連団体による 企画シンポジウム	【2】 自主シンポジウム	【3】 ラウンドテーブル	【4】 ポスター形式の 研究発表
1) 企画者	関連団体	会員	会員	会員
2) 発表形態	企画者が出演者を決め、研究発表や討論	企画者が出演者を決め、研究発表や討論	企画者と参加者が自由に討論	ポスターを掲示し、質問者と個別に討論
3) 発表時間	120分	120分	120分	掲示 120分 在席 50分
4) 申込方法	大会委員会に直接	Webサイトから規定の要領で	Webサイトから規定の要領で	Webサイトから規定の要領で
5) 論文集割当頁	2ページ	2ページ	1ページ	1ページ
6) 企画費	10,000円	20,000円	10,000円	大会参加費に含む

【1】 日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム

- 1) 企画者： 臨床発達心理士認定運営機構などによる企画を想定しています。
- 2) 発表形態： 下記の「【2】 自主シンポジウム」と同様。
- 3) 発表時間： 120分
- 4) 申込方法： 企画代表者が、大会委員会宛に直接申し込んでください。
- 5) 論文集割当頁： 大会論文集2ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費： 10,000円。お支払い方法は申込時にお知らせします。

【2】 自主シンポジウム

- 1) 企画者： 会員
- 2) 発表形態： 企画者が出演者（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど）を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。
会場は、50～100名程度収容可能な部屋です。
※会場系のスタッフが進行のお手伝いをします。
※コピー機の使用およびスタッフによるコピー代行はできません。
※資料、お水等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。
- 3) 発表時間： 120分
- 4) 申込方法： 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申込をしてください。
※倫理的な問題により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁： 大会論文集2ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費： 20,000円。企画代表者が参加費と一緒に支払ってください。
- 7) 企画・出演回数： 自主シンポジウムを企画申込できる回数は1回。
出演回数はラウンドテーブルと合わせて大会中1人2回まで。
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 **会員・非会員にかかわらず、出演者は大会参加費の納入が必須です。**
非会員が出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、ポスターの連名発表とは違い、連名費は不要ですが、大会参加費を大会期間内に支払う必要があります。
※シンポジウム開催当日までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。
※同一非会員が複数の発表・企画に出演される場合、大会参加費のお支払いは1回でかまいません。

【3】 ラウンドテーブル

- 1) 企画者： 会員
- 2) 発表形態： 同じ問題意識を持った者同士の自由な議論が主体の企画です。
企画者は参加者に話題を投げかけ、討論を促します。必要に応じて、話題提供者やファシリテーターを設定してもかまいません。
会場は、50名程度収容可能な部屋です。
※会場系のスタッフはつきません。
※コピー機の使用およびスタッフによるコピー代行はできません。
※資料、お水等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。
- 3) 発表時間： 120分
- 4) 申込方法： 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申込をしてください。
※倫理的な問題により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁： 大会論文集1ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。

- 6) 企画費： 10,000 円。企画代表者が参加費と一緒に支払ってください。
- 7) 企画・出演回数： ラウンドテーブルを企画申込できる回数は1回。
 出演回数は自主シンポジウムと合わせて大会中1人2回まで。
 ※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 **会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の納入が必須です。**
 非会員が企画に出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、ポスターの連名発表とは違い、連名費は不要ですが、大会参加費を大会期間内に支払う必要があります。
 ※ラウンドテーブル開催当日までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。
 ※同一非会員が複数の発表・企画に出演される場合、大会参加費のお支払いは1回でかまいません。

[4] ポスター形式の研究発表

- 1) 研究発表者： 責任発表者および筆頭者になれるのは会員のみ。
 連名者は非会員も可。
- 2) 発表形態： 個人または複数の人がポスター形式で研究を発表するものです。
 ポスターパネル（横 90 cm×縦 210 cm の予定）にポスターをセッション開始時刻までに掲示し、それをもとに発表者と質問者が個別に討論します。
 連名者も大会に参加し発表することが期待されていますが、責任在席時間はありません。連名者は申込者と共同で研究した者に限ります。
- 3) 発表時間： ポスターの掲示時間は 120 分、責任在席時間は決められた 50 分。
 ※「大会論文集への掲載」「掲示時間内のポスター掲示」と「掲示場所での責任在席時間内の個別討論」の全てを行うことによって、公式発表と認められます。いずれかの要件で変更、不備・不足があった場合には、大会委員会は学会と協議しその取り扱いを決定し、その決定を学会誌広報欄で報告します。
- 4) 申込方法： 責任発表者が、Web サイトから、規定の要領で発表申込をしてください。
 ※倫理的な問題により開催が認められない場合があります。
- 5) 論文集割当頁： 大会論文集 1 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。
 ※責任発表者が参加申込費を期日までに納入しない場合には、論文集への掲載はできませんのでご注意ください。
- 6) 研究発表費： 大会参加費に含まれます。
 非会員の連名者がいる場合は発表費の額が異なりますのでご注意ください。
- 7) 発表回数： 責任発表者となれるのは、大会期間中 1 回。
 ただし、連名者となる場合には回数の制限はありません。

4. 大会参加の手続き

■はじめに

◇本大会では、大会参加の申込、発表・企画の申込、大会論文集原稿の投稿のメ切を同じ日に設定しました。手続きのメ切及び一覧表を、**p. 8**に掲載しています。

◇すべての手続きは大会 Web サイト (<http://www.i-product.biz/jsdp2017>) で行います。

※問題やご質問がある場合は、日本発達心理学会第 28 回大会サポートデスクにご相談ください。

→連絡先 E-mail : g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp

※なお、いずれの申込も、大会 Web サイトでの手続き後、「費用の納入」をもって完了します。

【1】大会参加の申込

◇大会に参加する会員は、まず「大会参加の申込」を行ってください。

◇メ切は、**2016 年 10 月 31 日 (月) 17 時**です。

※あらかじめ 2016 年度の年会費が納入されていることが必要です。

※非会員は、事前の大会参加申込はできません。

年会費についてのお問い合わせは、上記サポートデスクまでご連絡ください。

【2】発表・企画の申込

◇「大会参加の申込」終了後、「発表・企画の申込」が可能です。

◇メ切は、**2016 年 10 月 31 日 (月) 17 時**です。

◇会員が行う発表・企画の形式は以下の 3 つです。

- ・自主シンポジウムの企画
- ・ラウンドテーブルの企画
- ・ポスター発表

【3】大会論文集原稿の投稿

◇発表・企画の申込をした方は、大会論文集原稿を投稿してください。

◇メ切は、**2016 年 10 月 31 日 (月) 17 時**です。

※メ切までに投稿がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

【4】費用の納入

◇費用は p. 8 の一覧表のとおりです。納入は、基本的にクレジット決済をお願いします。郵便振替でも納入できます。

・クレジット決済の場合：大会 Web サイトの指示に従ってください。

・郵便振替の場合：払込取扱票に記載された会員番号・氏名等を確認いただき、必要事項をご記入の上、お振込ください。

◇メ切は、**2016 年 11 月 4 日 (金)**です。

※メ切までに参加費・企画費の納入がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

【5】 注意事項：お読みください！

- ◇自主シンポジウム／ラウンドテーブル：企画者の費用納入とともに、企画出演者である会員全員が大会参加費を納入している必要があります。
なお非会員の出演者については、大会参加費を当日、受付でお支払ください。
- ◇費用の返却：納入された費用は、発表取消等の自己都合による場合、返却できません。あらかじめご了承ください。
- ◇学部生の発表：2017年3月卒業予定等の学部学生も発表者になることができます。
ただし、発表申込前までに2016年度会費の納入を含めて学生会員の入会手続きを完了していることが必要です。
- ◇年会費の納入：2017年度会費を発表当日までに納入していることが必要です。2017年3月卒業予定等の学部学生が発表者等になる場合も同様です。（定款では、翌年の会費を12月末日までに支払うことになっています。）






【6】 大会論文集 CD-ROM の事前予約購入

- ◇大会論文集 CD-ROM の事前予約の代金は4,000円（送料含む）です。
※大会参加費を納入された方には、大会前にプログラムと一緒に1枚送付されますので、それ以外に必要な枚数をご予約ください。
- ◇プレス枚数は予約購入数により決定しますので、機関購読をご希望の場合、事前予約をおすすめします。
- ◇10月31日（月）までに、下記の事項を日本発達心理学会第28回大会サポートデスクにお送りください。
 - ➡連絡先 E-mail：g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp
 - ・機関名（領収書の宛先名義）
 - ・担当者
 - ・連絡先
 - ・部数
 - ・その他（見積書、納品書、請求書が必要な場合は、その旨を明記してください。）

【7】 個人情報の取り扱いについて

本大会の申込や問い合わせにより得られた個人情報は、個人情報保護法に基づき、諸連絡、支払いの確認といった本大会運営上必要な業務にのみ使用し、それ以外には使用いたしません。

■各手続きのメ切

2016年8月上旬	
事前参加申込	開始  10月31日(月)17時メ切
すべての発表・企画申込 (自主シンポジウム・ラウンドテーブル・ポスター)	開始  10月31日(月)17時メ切
すべての発表・企画の 論文集原稿投稿	開始  10月31日(月)17時メ切
事前参加費・企画費納入	開始  11月4日(金)メ切
大会論文集追加購入費等納入	開始  11月4日(金)メ切

■大会参加の諸費用一覧

費用	対象	事前	当日	備考	
大会参加費 (大会論文集 CD-ROMの 代金を含みます)	一般会員	大会参加のみ	12,000円	13,000円	
		大会参加・発表・ 非会員連名者なし	12,000円	—	
		大会参加・発表・ 非会員連名者あり	16,500円	—	ポスター発表で、連名者に非会員がいる 場合。1名でも複数名でも同じです。
	学生会員	大会参加のみ	9,000円	10,000円	
		大会参加・発表・ 非会員連名者なし	9,000円	—	
		大会参加・発表・ 非会員連名者あり	13,500円	—	ポスター発表で、連名者に非会員がいる 場合。1名でも複数名でも同じです。
非会員	大会参加	—	13,000円	当日受付のみ	
	学部生	—	3,000円	当日受付のみ	
自主シンポジウム 企画費	企画申込者	20,000円	—	企画申込者が支払います	
ラウンドテーブル 企画費	企画申込者	10,000円	—	企画申込者が支払います	
大会論文集 CD-ROM	追加購入希望者	4,000円	5,000円	CD-ROMのみ。大会参加費納入者には 大会前に1枚送付されます。	
大会プログラム	追加購入希望者	1,000円	1,000円	会員には大会前に1冊送付されます。 追加購入される場合の値段です	
懇親会費	一般会員	4,000円	5,000円		
	学生会員	1,000円	2,000円		
	非会員	—	5,000円		

※※注意※※

・当日受付：発表・企画の申込をしておらず、事前の参加申込をしていない方でも、当日、受付にて大

会参加費を支払うことで参加できます。

- ・非会員に関わる費用：非会員が「大会会場に来られる場合」は、ポスター連名発表やシンポジウム／ラウンドテーブルでの出演の有無にかかわらず、当日、受付で大会参加費をお支払いください。
- ・当日受付の大会参加費は、支払われた日だけではなく、大会期間中の参加費となります。

5. 大会に関する広報・諸連絡

【1】これからの諸連絡

- ◇2号通信は、送付しません。
- ◇今後の諸連絡は、すべて大会 Web サイトにてお知らせいたします。
- ◇諸費用の納入は、基本的に大会 Web サイトからクレジット決済にてお願いいたします。
クレジット決済で納入をしない場合は、同封の払込取扱票をご利用ください。

【2】日本発達心理学会・会費の納入

- ◇第28回大会で研究発表をする場合には、①2016年度の会費を参加申込の前までに、②2017年度会費を発表当日までに納入してください。両方を納入していない場合には、大会での発表の権利を失うことがあります。
- ◇会費については、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。
→連絡先 E-mail：g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp

【3】日本発達心理学会への入会

- ◇日本発達心理学会に入会していない方が会員（一般会員／学生会員）として研究発表を行うためには、参加申込の前までに2016年度会費の納入を含めて日本発達心理学会への入会手続きを完了していることが必要です。入会申込後、入会承認手続きが行われます。
- ◇入会申込 URL は、<http://www.jsdp.jp/contents/base/nyukai.html> です。
- ◇入会手続きについては、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。
→連絡先 E-mail：g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp

【4】宿泊について

- ◇大会 Web サイトにて、宿泊のご案内をいたしますが、大会としてご案内できる室数には限りがありますのでご注意ください。詳細は、大会 Web サイトの更新をお待ちください。

【5】その他

- (1) 会務報告会、学会賞授賞式
 - ◇日時：大会2日目3月26日（日）（予定）
 - ◇詳細は大会 Web サイトおよびプログラムにてご案内いたします。
- (2) 懇親会
 - ◇日時：大会2日目3月26日（日）18時30分～（予定）
 - ◇会場：広島市文化交流会館
 - ◇会費：事前申込4,000円（学生会員1,000円）、当日参加5,000円（学生会員2,000円）

(3) 託児室

◇会場内に託児室を開設します。

◇託児室の利用は**有料**です。半日で2000円（学生は1000円）程度（保険、おやつ代込）を予定しています。

◇詳細は、後日大会 Web サイトおよびプログラムにてお知らせします。

(4) 書籍および機器の展示

◇大会期間中に、ポスター会場付近において書籍や機器の展示を行います。

6. 第28回大会および学会に関する連絡先

【1】大会総合窓口

◇会場や大会全般に関する質問は、E-mailで下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会第28回大会総合窓口

E-mail : jsdp2017@hiroshima-u.ac.jp

第28回大会 Web サイト : <http://www.i-product.biz/jsdp2017>

【2】日本発達心理学会会員管理事務局・大会サポートデスク

◇大会参加・発表申込、参加費納入、日本発達心理学会への入会に関する質問は、E-mailで下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会 会員管理事務局・大会サポートデスク

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目24-1

第2ユニオンビル4F (株)ガリレオ内

E-mail : g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp

TEL : 03-5981-9824

【3】学会事務局

一般社団法人日本発達心理学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-5 平清ビル401

E-mail : office@jsdp.jp

FAX : 03-5840-9338

学会 HP : <http://www.jsdp.jp/>